

令和元年第1回竜王町議会臨時会（第1号）

令和元年7月31日

午前11時30分開会

於 議 場

**1 議 事 日 程**

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 議第36号 令和元年度竜王町一般会計補正予算（第2号）

## 2 会議に出席した議員（12名）

1番	菱田三男	2番	小西久次
3番	若井猛志	4番	森島芳男
5番	森山敏夫	6番	内山英作
7番	松浦博	8番	古株克彦
9番	貴多正幸	10番	山田義明
11番	岡山富男	12番	小森重剛

## 3 会議に欠席した議員（なし）

## 4 会議録署名議員

1番	菱田三男	2番	小西久次
----	------	----	------

## 5 地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者

町長	西田秀治	教育委員会教育長	甲津和寿
副町長	杼木栄司	総務主監	山添みゆき
住民福祉主監	奥浩市	産業建設主監	井口和人
会計管理者	小森久美子	総務課長	川嶋正明
未来創造課長	関司明德	税務課長	西川良浩
生活安全課長	寺嶋要	住民課長	森岡道友
福祉課長	間宮泰樹	健康推進課長	中原江理
発達支援課長	西村忠晃	農業振興課長補佐	中島孝之
商工観光課長	岩田宏之	建設計画課長	森徳男
上下水道課長	込山佳寛	教育次長兼 生涯学習課長	井口清幸
学校教育課長	武久雅則	教育総務課長	町田啓司

## 6 職務のため議場に参加した者

議会事務局長	知禿雅仁	書記	中野ゆかり
--------	------	----	-------

開会 午前11時30分

○議長（小森重剛） 皆さん、こんにちは。

ただいまの出席議員数は12人です。よって、定足数に達しておりますので、これより令和元年第1回竜王町議会臨時会を開会いたします。

会議に入ります前に、町長より発言の申し出がございますので、これを認めることにいたします。

西田町長。

○町長（西田秀治） 皆さん、こんにちは。令和元年第1回竜王町議会臨時会の開会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

本日、令和元年第1回竜王町議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、何かと御多用の中を御出席いただき、厚く御礼を申し上げます。

近畿地方におきましては、先週梅雨明けが発表され、いよいよ夏本番を迎えました。議員の皆様方には、ますます御健勝にて日々議会活動に御専念をいただき、あわせて町政万般にわたり格別の御指導と御鞭撻を賜っておりますことに、衷心より厚く御礼を申し上げる次第でございます。

さて、6月定例会でお認めをいただきました道の駅「竜王かがみの里」周辺拡張整備事業に係る登記事務につきましては、現在、業務を進めているところではございますが、業務完了後、今年度、また、次年度以降にかけて用地を取得する予定でございます。

つきましては、今回それに係る債務負担行為の追加につきまして上程させていただき、御審議を賜りたく、本日の開会とさせていただいたところでございます。

8月定例会直前の臨時会招集となり恐縮するところではございますけれども、慎重なる御審議を賜り、適切な御結論をいただけますようお願い申し上げ、開会に当たりましての挨拶といたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○議長（小森重剛） これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（小森重剛） それでは、日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第125条の規定により、1番 菱田三男議員、2番 小西久次議員を指名いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第 2 会期の決定

○議長（小森重剛） 日程第 2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日 1 日限りといたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（小森重剛） 御異議なしと認めます。よって、本臨時会の会期は、本日 1 日限りと決定いたしました。

それでは、議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第 3 議第 3 6 号 令和元年度竜王町一般会計補正予算（第 2 号）

○議長（小森重剛） 日程第 3 議第 3 6 号、令和元年度竜王町一般会計補正予算（第 2 号）を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

西田町長。

○町長（西田秀治） ただいま上程いただきました、議第 3 6 号につきまして提案理由を申し上げます。

議第 3 6 号、令和元年度竜王町一般会計補正予算（第 2 号）につきましては、債務負担行為の補正をお願いするものでございます。

この債務負担行為補正につきましては、道の駅「竜王かがみの里」周辺の拡充整備事業に係る用地取得費として、令和元年度から令和 6 年度までの期間において、4 億 6, 3 3 5 万円を追加するものでございます。

用地取得に当たっては、第 1 期分として、駐車場計画用地等を含めた用地を今年度取得し、残りの用地を後年度以降に取得するものでございます。

ただし、当該土地所有者との協議、調整において、土地売買契約については、取得条件を担保するため、後年度以降の取得分を含めた全体での一括契約を行いたいことから、これに係る債務負担行為の追加をお願いするものでございます。

以上、議第 3 6 号につきまして提案理由を申し上げたところでございますが、よろしく御審議を賜り、御承認をいただけますようお願い申し上げ、提案理由といたします。

○議長（小森重剛） 提案理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑ありませんか。

8番、古株克彦議員。

**○8番（古株克彦）** 道の駅「竜王かがみの里」周辺拡充整備事業に係る補正予算につきまして、4億6,300万円という高額のものについて採決しろという臨時議会というように聞いておりますけれども、先ほど全員協議会で質問もいたしました。同様の趣旨のことを、やはり記録を残すために、あえてこの本会議で御質問申し上げます。

まずは、この4億6,000万円という高額のこういう土地を、やはり相当の構想をもってしかるべき、そういうものに対して我々が賛成か、反対かというふうなものがあるべきだというふうに思うんです。

その中で、先ほど全員協議会で説明いただいた、一応構想案については、4案ありました。この4案とも、帯に短したすきに長しというふうな、急遽無理やり出してきた構想案に見えてならないんです。こういう構想案では、はっきり賛成だということはできないんです。

ただ、こういう経過はあるということは聞いています。そういったものを、やむにやまれずこういう臨時会をやって、4億6,000万円という高額の土地をやっぱり承認いただきたいと、町民さんにも理解していただきたいというふうな前提のものがあるべきで、我々もただ単に「賛成です」、「反対です」と言うわけじゃないんです。先ほど町長もおっしゃったように、中身を十分精査していただいて、この精査の内容がもう一つしっかりこないんですわ。そこら辺を一つ、本会議で説明をきちっとしていただきたい。

**○議長（小森重剛）** 杼木副町長。

**○副町長（杼木栄司）** 古株議員の御質問にお答えをしたいと思います。

今回の用地取得等を前提とした債務負担の提案に対しまして、全体構想として広大な面積ということになりますので、そういった考えをどうもっているかということでございます。

基本的には、道の駅「竜王かがみの里」というアイテム、さらには、竜王北部地区の工業団地に続くエリアとして、当然国道8号線沿いということになりますので、その部分の産業振興の拠点として、当該土地については、どうしても必要な土地であるというように考えております。

この話が一部持ち上がりながら、また、先方さんとの協議の中でも、また、一

部国道事務所、道の駅「竜王かがみの里」の駐車場拡張計画とも平行いたしましたし、この間、我々も内部的には構想等の情報収集に努めてきたところでございます。

現時点といたしましては、喫緊の課題としての道の駅の駐車場の拡張の部分、そして、後年度以降の計画になりますが、町道の幹線道路の延伸、さらには、そこに残ります土地といたしまして、隣接地の利活用ゾーンということで構想区分を考えております。

隣接地の利活用ゾーンにつきましては、今ほど申し上げましたように、道の駅のアイテムも含めながら、工業団地エリアのことも含めながら、今現在情報収集なり、調査研究の段階では、いわゆる施設機能の充実からの、道の駅滞在時間を延長するような施設、また、竜王町としての課題でございます農業と観光、さらには、アクセスも含めた物流・流通の機能、あわせて定住人口の増加、こういったいろんな視点から研究、検討を重ねてきているところでございます。

御質問のとおりしっかりと、面積的には大きなものでございますし、あわせて、このエリアだけじゃなくて、やはり工業団地と8号線を結ぶエリアとしての、竜王北部地区としての産業拠点という意味から、もう少し踏み込んだ議論もさせていただきたいかなと思っております。

十分この議論を進めながら、また、議員の皆さんにも御意見を賜り、また、地域の皆さん、住民の皆さんにも御議論をいただく機会をもちながら、その部分についての公表もさせていただいて進めてまいりたいと思います。

いずれにいたしましても、やはりスピード感をもってということを考えておりますので、おくれることなく、皆様方の御意見を賜りながら進めてまいりたいと思っておりますので、ぜひともまた御指導のほどよろしくお願いを申し上げておきたいと思っております。

○議長（小森重剛） 古株議員。

○8番（古株克彦） 一応、構想案については時間がないというふうなことで、これから十分に検討して構想を練っていくと、町民さんが皆さん納得できるような、こういう構想をぜひ立てていただきたいというふうに思うんですけど、もう一つ、なぜこの時期に急遽この補正予算を組まなければならなかったという経緯について、もうちょっと説明していただきたい。よろしくお願いします。

○議長（小森重剛） 杼木副町長。

○副町長（杼木栄司） 古株議員の再質問にお答えをします。

この時期、臨時会を開催してまで、この債務負担行為を行うということについてでございます。

1点は、先ほども申し上げましたように、国道沿いの道の駅の騒音対策を含めて、国道事務所、国の事業所が拡張計画を協力してあげようということで、昨年度から調整をしてみいました。そういう意味でいいますと、今年度、来年度にかけての事業化については、用地取得がぎりぎりの段階であるということが1点でございます。

2点目には、現在折衝しております相手方の事業主さんの意向といたしましても、できるだけ早く仮契約等を締結をしながら、今、我々が求めようとしている土地に、いわゆる空き家というか、空き宿舎みたいな施設が何点かございます。その撤去を急いでやりたいということも含めて、竜王町としての、そういう仮契約をするための担保として、債務負担という予算担保をお願いをしたいというのがこちらの意向でございます。

本日、お認めをいただけましたら、急いで仮契約を締結いたしまして、改めて本契約を議会の皆さんにも御審議いただきながら、第1期地区についての撤去等も含めての準備を進めていくということでございますので、急遽お願いをさせてもらったところでございます。

当初は、1期分の土地について契約をする、また、後期分は別契約ということを考えておりましたが、先方さんの意向も含めまして全体契約ということになりましたので、債務負担行為をお願いするものでございます。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

**○議長（小森重剛）** ほかに質疑はありませんか。

11番、岡山富男議員。

**○11番（岡山富男）** 議第36号、令和元年度竜王町一般会計補正予算（第2号）について質問させていただきます。

その中で、特に「竜王かがみの里」周辺拡充整備事業についてで、近隣活用ゾーンの構想ということで4案を示されておられます。この4案を示されておりますが、これを実現しようという形になると、先ほどの全員協議会でも話があったんですが、道路が必要になるということが言われました。

この道路なんです、この道路自体も、構想として1案、2案、3案というように言われましたが、ここは田畑で区画整理がされていないところで、まして持ち主の方が竜王町の方かというのも1点お聞きしたいのと、ここの田畑ですが、

公図混乱ということをおっしゃっています。

実は、私、数十年前に一般質問させていただいたときの当時の課長からは、道路はできるが、どうしても公図混乱のところがある。ここを解決しなければ、これはできないということも言われておりました。それを受けてもう数十年たっているわけですが、今から公図混乱のここを解決していくのかどうか、今からでしたら、これは大変時間がかかるということをおっしゃるんですけども、その点、お伺いいたします。

**○議長（小森重剛）** 杼木副町長。

**○副町長（杼木栄司）** 岡山議員の質問にお答えをしたいと思います。

基本的に道路整備というのが、今回の全体の計画の重要なアイテムでございますし、おっしゃるように以前からも既存の施設を調整しながらいろんな道路計画を考えておりました。さらには、20年ぐらい前から、当時の地権者も含めて調整を進めてきたところでございますが、御案内いただきましたとおり、やはりなかなかこの壁が厚いというようなことも現実のところでもございました。

今回につきましては、一つは、いわゆる会社等の施設の今後の移転ということも含めて、大きく利活用と土地の確保ということも見通しがついたということと、あわせて当時の状況とはまた変わってきておられますし、竜王北部の工業団地へ結ぶ結節点の道路として大変重要な道路ということで、さらに重要度が高まってきておられますので、このことについては今日までには進めなければならぬと思っております。

その上で、現場のほうが、公図が混乱している、地権者等も変わられているということも、町内の地権者の方ばかりでございますが、世代が交代されているということでございますので、この土地取得の見通しがつけば、まず地元に入りながら、公図混乱も含めまして進めてまいりたいと思っております。

公図混乱の修正方法については、公が進める中でも御理解を求めながら急いで進めさせていく覚悟でございますので、よろしくお願いを申し上げたいと思っております。

以上でございます。

**○議長（小森重剛）** 岡山議員。

**○11番（岡山富男）** 公図混乱に対して「急いでやる」と言われましたが、これのスケジュールはどうなっているんですかね。やはり年度内である程度関係まで、ここまで終わるのか、いつまでこれをかけるのか、これをしっかりとスケ



ジュールを言っていたきたいなと思うんです。

○議長（小森重剛） 杼木副町長。

○副町長（杼木栄司） 岡山議員の再質問にお答えをしたいと思います。

まず、基本的には、今回の皆様方に提案をしている案件を、地元、鏡区、さらには地権者の皆さんに説明に入ると、これがやっぱり一番のことかと思えます。

そういった意味で、順次、順番を追っていく必要があるかと思えます。今年度中にやれるとか、来年度前半のいつまでにやれるとかいうことではなく、まず地元に入らせてもらおうと思っております。

大きくは、次年度以降には、いわゆる道路整備に対する計画とか、そういった分の国費の要望をさせてもらって、その中で、いわゆる事業予算をとる中で下準備を十分重ねながら、まず公図混乱という部分が第一番目の仕事になると思えますが、順を追ってやっていきたいと思えます。

現況調査については、以前からもできておる部分がありますので、そういう既存の資料等も十分活用しながら再確認をするということになると思えます。

まず、今年度地元のほうに入らせてもらうということから進めていきたいと思えますので、よろしくお願い申し上げたいと思えます。

○議長（小森重剛） 岡山議員。

○11番（岡山富男） 副町長、そうやって言われますけれども、地元に入るときに、公図混乱のこういうなんで御理解してください、でも何をします、道路つけます、この道路をつけるときに、いつごろまでにこういう公図混乱を解決したいんや、また、道路はいつごろにこういうなんを計画をしているんやというのをやっぱり言って、地元と言いに行くのが当たり前。ただ公図混乱のこれ解決させてください、だからお願いしますって、そんなん理解できないと思えますよ。やっぱり年数とか、そういうスケジュールをもって初めて地元に入るのが当たり前じゃないんですか。何もそういうなんを解決、それを言うてない状態で、今、回答されたのではおかしいと思えますよ。

○議長（小森重剛） 杼木副町長。

○副町長（杼木栄司） 岡山議員の再々質問にお答えをしておきたいと思えます。

道路計画、道路整備を進めるのに、公図混乱というのは、いろいろな課題の中の1つでございます。入り口でもありますけど、やっぱり総合的に一緒に進めていくものでございますので、そのことも踏まえて、まずは地元に入る、そして、一つは平面測量とか、現場調査を前の資料も含めて確認をする、そこであわせて、

我々としては法線決定というものをしますので、いつまでに公図混乱を全てそこを先にやってからということは、並行してということになるかと思います。当然、すかつとした土地の上にきれいな絵を描きたいわけですが、並行してしかできないと思っておりますので、そういう意味で、地元のほうにまずそういう計画の説明から入っていきたいと思っておりますので、その中で見通しということは、次の段取りを進めさせていただかなければならないと思っておりますが、公図混乱に限っていつまでにこうやということには、具体的に今持ち合わせておりませんが、やっぱり現場がそういうことですので、公図混乱を直すのか、全部分を一括して周辺を地籍調査みたいなものやってしまうのか、いろんなことも含めて研究をしてみたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げたいと思っております。

**○議長（小森重剛）** ほかに質疑はありませんか。

2番、小西久次議員。

**○2番（小西久次）** 令和元年度竜王町一般会計補正予算（第2号）に対しまして、質問をさせていただきます。

平成30年12月定例会において、「まちづくりと今後の財政見通しは」、また、令和元年6月定例会において、「教育施設の基本方針は」ということで質問をさせていただきました。

その中で、特に財政見通しにつきましては、コンパクトシティ化構想（案）が示される中で、10年後について、財政計画については普通建設事業が10.9%ということで、運営としては、町として事業実施に当たっては問題ないと、運営が可能だという御回答をいただきました。

それから、教育施設の基本方針につきましては、2025年度竜王小学校の開校を目指すという回答をいただいたところであります。

今回、臨時議会において提案されておりますこの補正予算について、詳細については全員協議会で説明を受けました。

その中で、今、前段申し上げましたように、基本的ないろいろないわゆる施設構想、まちづくり構想を立てて執行されようとしている中で、今回新たに4億6,335万円の歳出が出てきたと。その中で、説明の中では、歳出は4億6,335万円だけれども、それに見合う歳入は6,100万円と、新たないわゆる起債をしなければならないという説明でありました。

そこで、お伺いをさせていただきます。

今現在、一般会計における町債残高が46億3,100万円ということで、何

年か前よりも徐々に少なくなってきております。

一方、基金残高についても、29億5,100万円ということで、西田町長になられてから若干積み立てされてふえてきているという状況であります。

しかしながら、先ほども申しましたように、コンパクトシティ化構想（案）、または学校等の問題についても、おおむね30億円から60億円ぐらいかかるというふうな御回答があったわけでございます。

しかしながら、今回、2025年といいますと、今の道の駅のこの構想も、5年後に同じように金を動かしていかなきゃならないということで、今後、やはりそれについての財政計画が大丈夫なのかという、実は心配をします。

そこで、財政計画は大丈夫なのかということと、それから、どのような財政計画について考えておられるのかということ、まずお聞きしたい。

**○議長（小森重剛）** 杼木副町長。

**○副町長（杼木栄司）** 小西議員の質問にお答えをしたいと思います。

今回提案をさせていただいております土地の取得に対しまして、今後の財政負担、また、そういった見通しということでございます。

基本的には、現在第1期で拡張するところについても、今現在国道事務所のほうが、約半分の4,000平米については、土地取得等も今後一旦私どもが買い受けをしますが、負担をいただけるというようなことでございます。

また、町道拡張部分につきましても、国費等を充当する中での予算要望もさせていただき予定でございます。

あわせてまして利活用ゾーン、まだまだ構想段階でございますが、できる限り産業振興拠点として、民間活力も活用した中で、いわゆる収益性の高い施設等を考えていきたいかなと思っております。その中で国費を投入できる事業があるか、さらには、利活用の中で税収等が確保できるものがあるかということも十分議論させてもらいながら、単に収益性のない公共施設というより、産業拠点となるようなエリアとしての活用を考えております。

そういった中で財源確保を図りながら、また、有利な起債等も検討してまいりたいと思っております。

それと、一旦、今現在土地開発基金のほうで、3月の議会でこういったことも含めて、一部ではございますが、皆さんの御理解をいただきながら造成をさせてもらったところでございます。そういった土地開発基金も有効に活用しながら、あわせて国費等の補助事業等を強く要請をしながら、また、申しましたよう

に民間活力を活用した中での収益性の高い場所となるということも含めて、財政の見通しを立てさせてもらっております。できる限り一般財源の負担が抑えられるように、メニュー等も含めて検討をしてみたいと思います。

あわせて、コンパクトシティ化構想、現在町内を回っておりますが、そちらのほうも、基本的にはいろんな御意見を聞きながら、まずはリーディングプロジェクトということで、全体的な財政計画等もあわせてバランスの取れた進みをさせていただき覚悟でございますので、よろしくお願いを申し上げておきたいと思います。

**○議長（小森重剛）** 小西議員。

**○2番（小西久次）** 今、大丈夫だよというふうな回答を得たなと思いますけれども、実は、先ほど言いましたように、2025年の小学校を目指すということは、今後7年後に開校を目指すということで進めていただいています。

この道の駅も、5年後に全て3億4,100万円をお支払いするよというふうなことになっています。

そうしますと、今後、今現在でも、例えば町の診療所とか、アグリパークとか、それと福祉施設についてもいろいろ考えて施策をやっていただいております。

この間もコンパクトシティの会議の中でも、竜王町の場合は、子育て施策とかかなり進んでいるよというお話も住民の皆さんから聞きました。

しかしながら、いろんな事業が重なることによって、その部分がやっぱり落ちてくるんじゃないかと、実は心配をしています。それと同時に、若い層、30代の方から、後世への負担を残しては困るというふうな、会議でも出ておりました。やはり若い人なりにそれなりに考えておられます。

そういう面で、今言いましたように、今後5年から7年の間にすごくお金が必要になってくる、いわゆる西田町長が施策をしようとしておられることについて、それはやっぱり片方では福祉の面を落としてはならんと私は考えておりますし、やはりまちづくりをせなあかん、それは当然です。そうすると、今、大丈夫だよということで回答をいただきました。

けれども、具体的にその財政計画をどのようにシミュレーションしておられるのか。この4億6,000万円余りをふやす中で考えておられるのか、それについてもう少し詳しくお聞きしたいと思います。

**○議長（小森重剛）** 西田町長。

**○町長（西田秀治）** 小西議員の再質問にお答えします。

財政計画につきまして、支出と収入という観点でももちろん今のまちづくりのいろんな説明会の中でも多くの方からその点については御意見をいただいていますので、今精査をしているところでございます。もちろん滋賀竜王工業団地に今のところ4企業、大手の一部上場企業4社が来てます。

したがって、その企業が立地をし、固定資産がそこに入ってくれば、御高承のとおり固定資産税も入ってきます。また、そこで仕事をしていただいた法人町民税も入ってきます。したがって、今の滋賀竜王工業団地が一定今満杯になった段階で、どういうふうな税収増が生まれてくるのか、この一定の仮定を置かないと出てきませんけれども、財政計画をつくる上で今その精査をしているところでございます。

それから、また、雪国まいたけのところも一応企業全部埋まりました。したがって、そこでも同じような税収増が図られるだろうと、また、インターチェンジ周辺に今町有地がございますけれども、そこも一応売却をし、企業誘致が終わりましたので、そのあたりの税収増の部分も今シミュレーションしながら、これはもうもちろんまちづくりの議論の中でお示しをしていこうということでございます。

そういう意味で、今、皆さんに安心いただけるような作業中でございますので、今この場で私からは申し上げられないけれども、ただ、我々としてまちをどうつくっていくのか、もちろんインフラ整備もございます。そういう中でできるだけ国・県からの交付金なり、補助金をふやすこと、そういう努力をすること、それによって一般財源の負担を減らしていく、また、一方、税収増をどう図っていくのかというようなことも含めて、そのあたりの検討をしていきたいというふうに思っているところでございます。

我々としても、後世に負担を残さないということを、残したくない、残してはいけない、できるだけ負担を多く次の世代に残したくないので、その話は、私はまちづくりの話の中でもきっちり申し上げている。

でも、ゼロというわけにはいきません。この町を今のまま放置していいのかと、このままでいいのかという議論です。最低限インフラの整備をしなきゃいけないし、町に活力を生むためには、いろんな整備もしなきゃいけない。一定のコスト負担をどうしていくのかということです。もちろん天から金がおりてくれば別ですよ。だから、一定負担も必要だけれども、過重な負担はやっぱり避けなければいけない、そんな議論を考えているところでございます。

それから、今回の道の駅「竜王かがみの里」の地域の問題、私、これできるだけ竜王町全体が均衡ある、バランスある発展を図っていくということを一つの、コンパクトシティ化の中でも申し上げているところでございます。

比較的南部地区の工業団地の地域、また、山之上地域の地域、これは、今、比較的活性化している元気な地域でございます。北の地域が、少し今苦勞が多いかなと思ってしまして、北の地域は、やっぱり今後国道8号線のバイパス化、もしくはは拡幅、これを一つの起爆剤にその地域の振興をしていきたい、ちょうどそれを考えると、あの道の駅のゾーンは、先ほど副町長も言っていましたけれども、産業振興の大きな拠点になるだろうと、私は、将来の大きな財産になるというふうに理解をしています。だからこそ、今、皆さんにお願いをしている。

この交渉には、本当に相手のある話でございますから、少し長くなるので申しわけないんですけど、国の関与をするところで、じゃあ駐車場を買ってあげよう、じゃあもし我々が今答えられなかったら、この話は流れてしまいます。それでいいのかという議論が一つあると思います。

それから、特定の今の所有者から買い取ること、これについても、一部を買わせてほしいという交渉はしてきましたけれども、相手方は、一部ではだめだと、もし売るなら全域だと、こういう条件になっています。そうであれば、今回のいろんな開発計画をみんな捨ててしまうのかという議論にもつながってまいります。

したがって、こういう全体の流れの中で、今、交渉していますので、その交渉については、ぜひ我々を信頼いただき、もちろん皆さんの御意見もお聞かせいただきながら、それを織り込んでいくというのはもちろんですけれども、ぜひ御承認を賜るようお願いを申し上げたいと思うところでございます。

**○議長（小森重剛）** 小西議員。

**○2番（小西久次）** 町長から、今、方針を伺いました。決して私は、この活力のあるまちづくりを否定しているわけではございません。やはり前へ進めるところは前に進めなければならない、それから、当然子育て施策や福祉施策についても進めなければならないというふうに考えております。

今、回答いただきましたけれども、ある一定一つだけ押さえておきたいと思えます。

工業団地と新たな工場が立地します。そうしますと、固定資産税5年間は減免ですよね。そうすると、一番私が心配しているのは、その5年間どうするのかなというふうな、実は、心配もしておりました。ですから、そういう質問をさせて

いただいたわけでございます。

企業が立地しても、5年間は固定資産税は減免です。このことを、やはりきちんと頭に置いていただいて進めていただきたいし、それから、しかるべき時期にある一定の財政計画が出たら、議会に提示もしていただけるだろうと思っておりますけれども、早急に提示をしていただきたい。

それから、もう一点。子育て施策や福祉施策に影響が出ないような方針で、基本的な考え方を持っていただきたいというふうに考えておりますけれども、その辺について再度お聞かせ願いたいと思います。

**○議長（小森重剛）** 杼木副町長。

**○副町長（杼木栄司）** 小西議員の再々質問のほうにお答えをさせていただきたいと思っております。

おっしゃるとおりでございます。これは町全体の計画との連動性もございますし、このエリアの計画とまた地域なりの振興ということでございますので、いろいろ順を追って詰めさせていただきますし、段階を追いながらおくれることなく皆様方に、また、地域の方、町民の方にも公表しながら御意見を賜っていきたいと思っております。

なお、企業の減免に関して、竜王町が持っている産業振興条例については1億円を限度に3カ年ということで整理をしておりますので、申し上げておきたいと思っております。

**○議長（小森重剛）** ほかに質疑はありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。

討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。

お諮りいたします。

日程第3 議第36号を原案のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

**○議長（小森重剛）** 起立全員であります。

よって、日程第3 議第36号は原案のとおり可決されました。

以上で、本日の議事日程は全部終了いたしました。

この際、町長より発言の申し出がございますので、これを認めることにいたします。

西田町長。

**○町長（西田秀治）** 令和元年第1回竜王町議会臨時会の閉会に当たり、一言御礼の御挨拶を申し上げます。

提案をさせていただきました案件に関しまして、慎重なる御審議を賜り、原案どおりの内容でお認めをいただきましたことを、厚く御礼を申し上げます。

今回、予算措置いただきました内容を着実に進められるよう尽力してまいります。また、今ほど議員各位からいただきました御意見、御指摘につきましては、十分留意をし、今後の町政運営に当たってまいり所存でございます。

さて、町政を預かるものとして、第一に考えておかなければならないことは、町民皆様の生命や財産を災害から守ることでございます。

先週末に日本列島に上陸しました台風6号につきましては、非常に激しい雨が各地に影響を及ぼしたものの、本町におきましては幸い大きな被害には至らなかったというところでございます。

今後の台風、万一の地震、いつ起こるか分からない災害に対しまして、十分備えていかねばならないと再認識しているところでございます。

結びに、夏空がまぶしい日が続いておりますが、議員の皆様におかれましては、健康にくれぐれも御留意いただき、本町の発展のために御活躍いただきますよう御祈念申し上げ、閉会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。

最後に、今週末8月3日土曜日は、竜王夏まつりの開催が予定されております。観光協会、商工会などを中心に実行委員会を立ち上げ、準備をいただいております。私どもといたしましては、2年に一度の夏まつりで子どもたちの元気な声、魚つかみ、また、仮面ライダーショー等、また全町民皆さんでの江州音頭の総踊り、大抽選会、2,000発の大花火大会、1人でも多くの町民の皆様楽しんでいただける、町を挙げての大イベントとなりますよう取り組んでまいりますので、議員各位皆様方におかれましても、ぜひ御参加をいただき盛り上げていただけることを、どうぞよろしく願いをいたします。

本日は、まことにありがとうございました。

**○議長（小森重剛）** 以上をもちまして、令和元年第1回竜王町議会臨時会を閉会



いたします。

大変、御苦労さまでした。

閉会 午後0時15分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

竜王町議会議長 小 森 重 剛

議会議員 菱 田 三 男

議会議員 小 西 久 次